

Doronko

子育てから世界は変わる。

Doronko group
どろんこ会グループ法人一覧

株式会社ゴーエスト

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-5766-8060
FAX 03-5766-8061

株式会社日本福祉総合研究所

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-5766-8070
FAX 03-5766-8071
一般労働者派遣事業 許可番号: 販13-304532

社会福祉法人どろんこ会

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-5766-8050
FAX 03-5766-8051

株式会社南魚沼生産組合

〒949-6416
新潟県南魚沼市大木六37
TEL 025-788-0840
FAX 025-788-0841

株式会社Doronko Agri

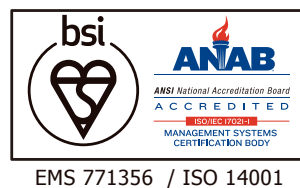
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-4363-5651
FAX 03-5766-8061

社会福祉法人愛育会

〒901-0224
沖縄県豊見城市字与根520-4
TEL 098-856-9360
FAX 098-856-9361



社会福祉法人どろんこ会(本社 運営部)は2016年4月1日
“保育サービス提供”でISO9001:2015の認証を受けました。
(認証登録番号: C2025-01049)



どろんこ会グループの施設は、
環境マネジメントシステムの国際規格
「ISO14001:2015」の認証を受けています。
取得施設についてはこちらをご覧ください→



施設写真協力 ©Shigeo Ogawa

Doronko コーポレートサイトはこちらから



新卒採用サイト



中途採用サイト



ANNUAL REPORT 2025

どろんこ会グループ アニュアルレポート2025



インクルーシブ保育の取り組みを全国へ 自治体や地域とともに広げる、インクルーシブの輪

- 走り続けるDoronkoの2025年度 -



Doronko

子育てから世界は変わる。

「なぜやるか、どう行うか」を 磨き続けた2025年度

畑仕事や長距離散歩、ヤギや鶏の世話—どろんこ会には「生きる力」を育むための基本活動があります。それらは日々の営みの中で、いつしか当たり前になってしまうこともある。そこで2025年度は「原点回帰」を掲げ、なぜやるか、どう行うのかをスタッフ一人ひとりが問い直し、保育の質向上に力を注ぎました。

その象徴が「屋外の物的環境構成」です。鍋、水、土、板、角材などの創意工夫に繋がる材料を保育者が考え抜き、園庭に配置することで、子どもが自ら遊びを創り、広げ、深めていくプロセスを引き出しました。配置された材料が一転、家づくり・道づくり・火起こしなど、大人の想像を超える豊かな世界が広がりました。「創造のプロセスを見る目」を持つことで、何を、どれだけの量、どこに配置すべきかが見え、子どもたちの感性を開き創意工夫・話し合い・表現等といった知を獲得するセンス・オブ・ワンダーが実現する。これこそが、保育者の専門的スキルであり醍醐味であると思います。

食育の分野では「新どろんこレシピ」の開発に着手。食材を余すことなく使い切る次代の給食づくりに向けた挑戦です。その一環として出場した「給食の鉄人®」コンテストでは、八山田どろんこ保育園が見事優勝を果たし、全国1位となりました。縁側給食や畑仕事から着想を得た一品は、どろんこ会の食育が結実したものです。現場から生まれる実践力の高さを再認識する出来事でした。



安永愛香

株式会社日本福祉総合研究所 代表取締役
社会福祉法人どろんこ会 理事長
社会福祉法人愛育会 理事長



高堀雄一郎

株式会社ゴーエスト 代表取締役
株式会社南魚沼生産組合 代表取締役
株式会社Doronko Agri 代表取締役

自治体との連携協定で 「インクルーシブ保育」を社会へ

インクルーシブ保育の分野では、自治体との連携が大きく前進しました。福岡県小郡市、山形県上山市と連携協定を締結し、どろんこ会の知見を社会へ広く共有するものです。2026年度からは市の公立園保育士をどろんこ会の施設で一年間受け入れる「長期派遣型研修」を開始します。全国でも前例のない取り組みへ、また一步踏み出します。

さらに2025年4月には書籍『子どもも大人も混ざり合う 児童発達支援×保育所等の併設で創るインクルーシブ保育』を発行しました。保育と児童発達支援を一体的に営む「完全併設施設」は国内外から注目を集め、視察や取材が相次いでいます。

私たちが取り組んでいるのは決して特別なことではありません。ただ、目の前の子どもにとって必要だと思うことを地道に積み重ねてきました。その一つひとつがいま、社会にとっても必要だと時間差で受け止められつつあります。幼児教育の先進国は世界にあるけれど、「0歳からの人育て」として、養護・教育・支援を一体的に行う日本の保育は世界トップクラスだと感じています。

6つ目のグループ内法人が誕生 現役施設長が法人の経営者に

そして2025年度は、沖縄県の社会福祉法人愛育会の事業を継承し、どろんこ会グループに6つ目の法人として加わるという大きな節目を迎えました。法人の理念を丁寧に誠実にすり合わせてこその実現でした。愛育会にはどろんこ会の施設長が常務理事として参画し、保育にとどまらず経営全般で力を発揮しています。現場の経験を経営に反映し、より良い法人運営を目指すとともに、自身においても次なるキャリア形成を目指す挑戦の始まりです。これからも多様な環境や挑戦の機会を用意し、保育業界に新しい道筋を示し続けてまいります。

農業分野でも着実に歩みが進みました。新潟県柏崎市での農地拡大により、減農薬栽培の給食米をグループ全施設に安定供給できる体制が整いました。Doronko Agriによる野菜生産も順調に伸び、収穫量は着実に増えています。何より大きな前進は、収穫した野菜を各施設に配送する流通基盤を整えられたことです。システムでの発注から、納品、施設別の請求書作成まで一連のプロセスを整備。一見地味な取り組みですが、持続可能な農業には欠かせない大切な仕組みづくりです。

社会とつながり 新たな価値を創造するために

障害のあるアーティストの社会参画を広げる「パラリンアートカップ」のメインスポンサーも2年目に入りました。スポンサー賞として新たに「中・高校生部門」を設置し、挑戦の機会をさらに拡大。表彰式には車いすテニスで国民栄誉賞を受賞した国枝慎吾さん、女子サッカーで同じく国民栄誉賞を受賞した澤穂希さんにもご登壇いただき、盛り上がりを見せました。入賞作品をオリジナルコーヒープランド「Do coffee」のラベルに採用し、その利用料をアーティストへ還元する仕組みも整えています。作品が社会とつながり、価値として循環していくための大切な取り組みです。

新潟県南魚沼市ではジビエ解体加工とクラフトビール醸造、飲食店機能を併設した多機能型複合施設の建築が順調に進み、まもなく竣工を迎えます。南魚沼市とも連携しながら、食育と地域課題の解決を両立する新たなモデルを展開します。

どろんこ会グループは引き続き、子育てを起点に、人も食も仕事も循環させることで、0歳から人生を終えるその時まで、全ての人が「生きる力」をもってよく生きられる社会を創造してまいります。



▲ パラリンアートカップ 2025受賞作品をあしらった特別パッケージ



▲ 「給食の鉄人®」コンテスト表彰式の様子

数字で見るどろんこ会グループ

*2026年3月時点

株式会社ゴーエスト | 株式会社日本福祉総合研究所 | 社会福祉法人どろんこ会
株式会社南魚沼生産組合 | 株式会社Doronko Agri | 社会福祉法人愛育会

全ての人が「生きる力」をもって、よく生きられる社会のために、人も食も仕事も循環する事業活動を行っています。

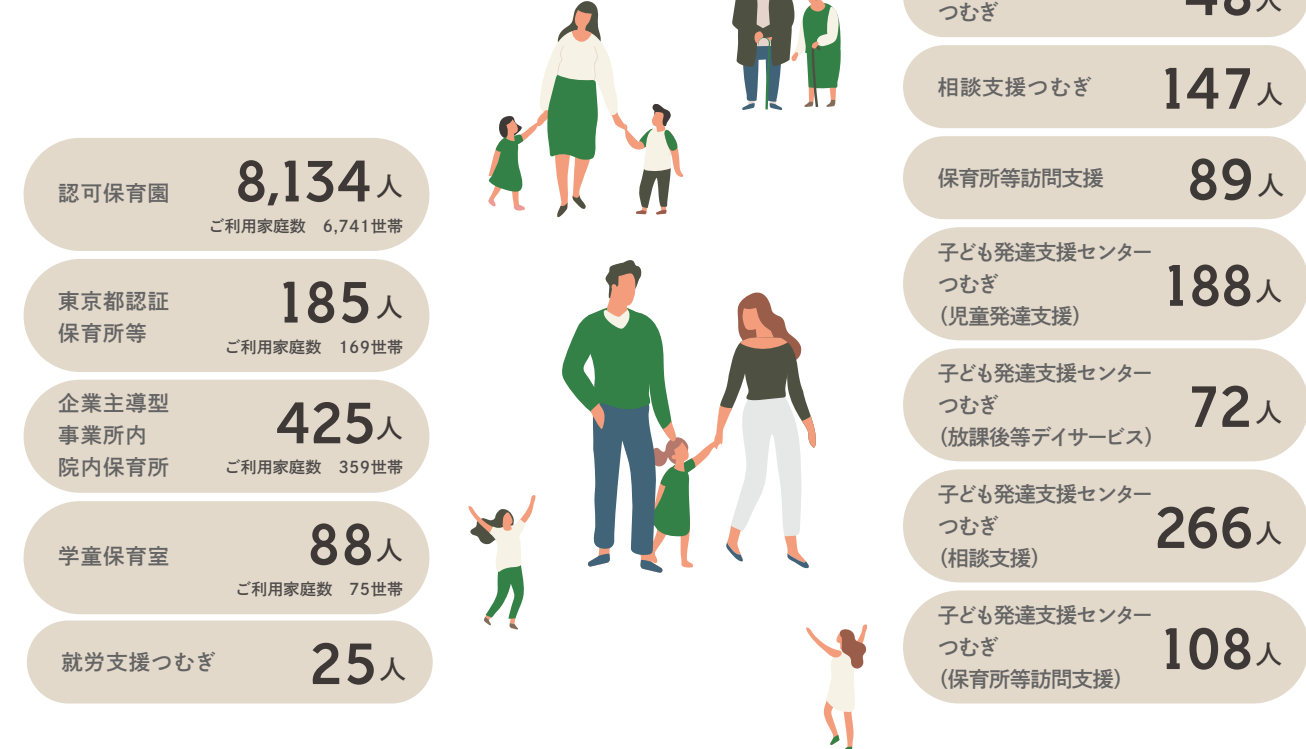
2025年度運営施設数

TOTAL **181** 施設



施設利用者数

TOTAL **10,729** 人



new

運営施設のうち、2025年度新規開所施設数

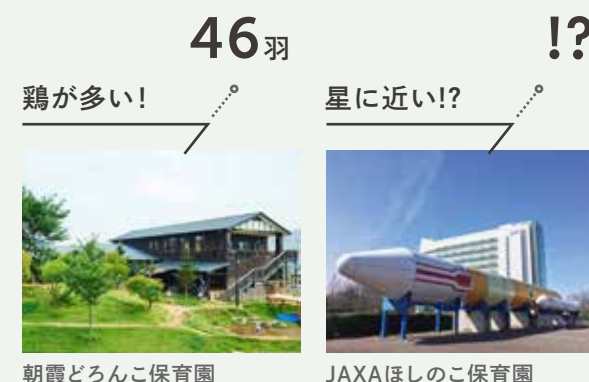
認可保育園 4施設 | 認定こども園 1施設 | 児童発達支援事業所 4施設

2025年度までの
民営化(民間移管)実績 **13** 施設

2025年度までの
インクルーシブ施設実績 **21** 施設



Doronkoでイチバン〇〇!



保護者の声!

発達支援つむぎ 目白ルーム

年少から3年間大変お世話になりました。先生方は子どもの良い所に気づき、小さな成長も一緒に喜んでくださいました。保護者の心にも寄り添い、貴重な食育などたくさんの経験を積ませていただき感謝でいっぱいです。ここに通えて本当に幸せでした。

メリー★ポピンズ kids朝霞ルーム

異年齢保育で子どもたちが自然に触れ合う温かい園です。最大の魅力は、担任だけでなく園全体の先生方が連携して全員で子どもを見守ってくれること。「知らない先生がない」と思える安心感と信頼感があります。

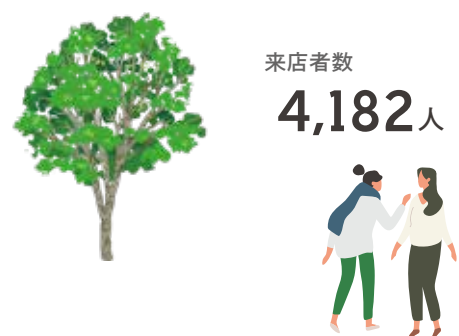
数字で見るどろんこ会グループ

*2026年3月時点

株式会社ゴーエスト | 株式会社日本福祉総合研究所 | 社会福祉法人どろんこ会
株式会社南魚沼生産組合 | 株式会社Doronko Agri | 社会福祉法人愛育会

全ての人が「生きる力」をもって、よく生きられる社会のために、人も食も仕事も循環する事業活動を行っています。

2025年度 TSUMUGI CAFE 武蔵野 (就労支援つむぎ 武蔵野ルーム)



2025年度 食材や食の循環・環境への 意識を育む環境教育



2025年度 スナックつむぎ (株式会社南魚沼生産組合)



2025年度 減農薬コシヒカリの生産 (新潟県南魚沼市)



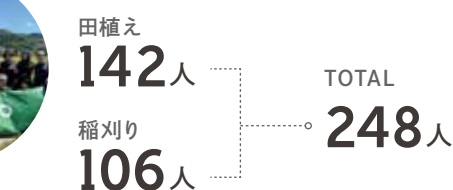
給食米「どろんこ米」の 自給自足



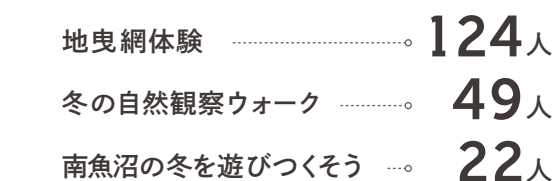
3・4・5歳児 田植え・稲刈り体験ツアー



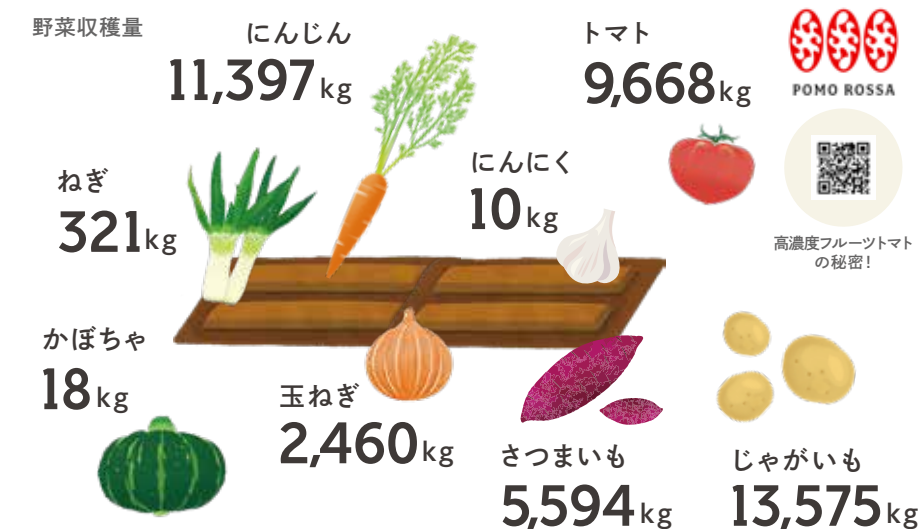
MTM (南魚沼 田んぼ 見守り隊) 職員有志の取り組み



自然体験ツアー

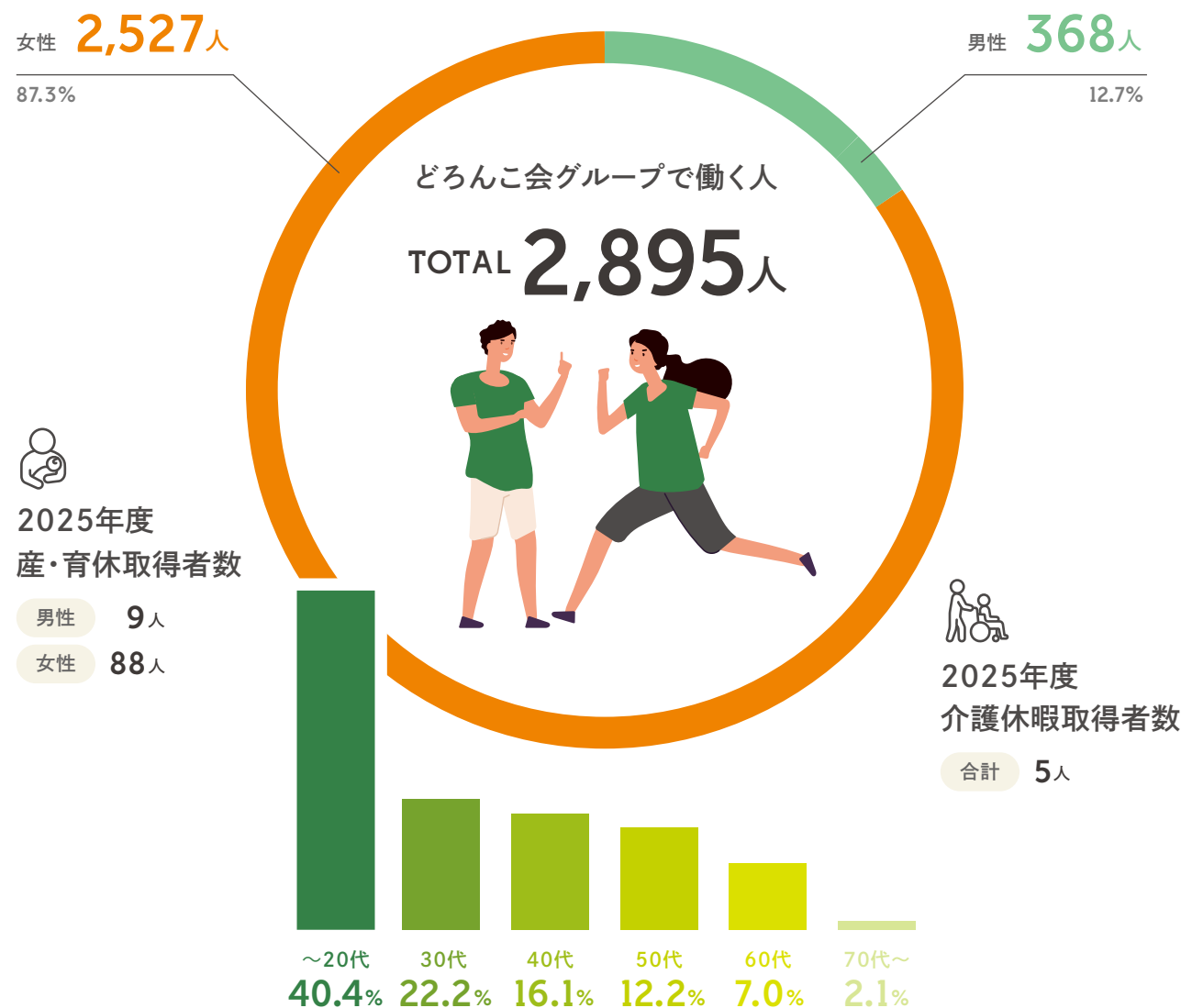


2025年度 野菜の生産



どろんこパーソンと生き物たち

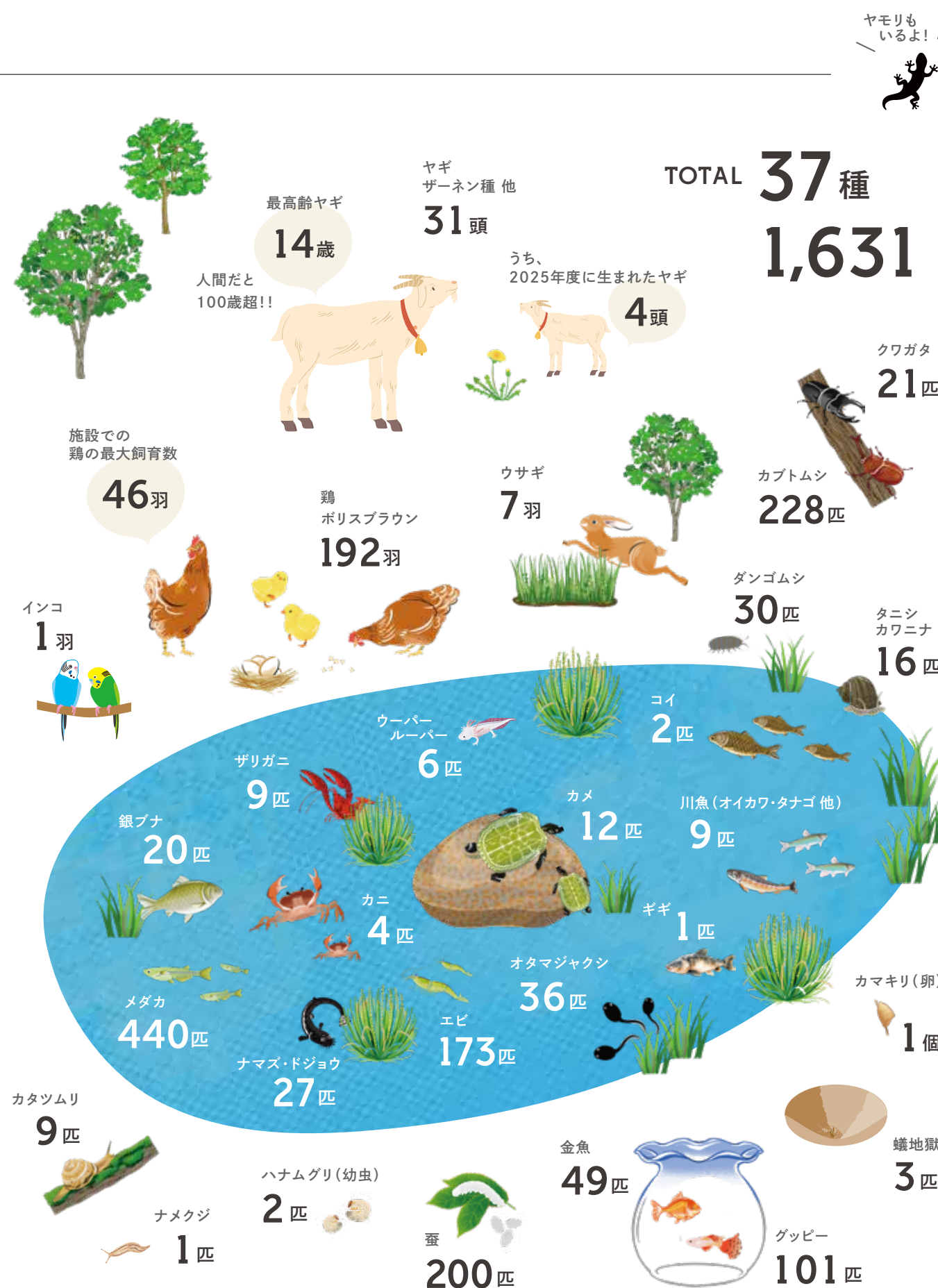
*2026年3月時点



資格取得者数

保育士	1,877人	栄養士	159人	幼稚園教諭	538人	調理師	118人
看護師	78人	管理栄養士	67人	社会福祉士	43人	介護福祉士	24人
作業療法士	31人	公認心理師	29人	臨床心理士	20人	言語聴覚士	11人
小学校教諭	29人	中学校教諭	18人	高等学校教諭	19人	精神保健福祉士	11人
理学療法士	12人	臨床発達心理士	3人	社会福祉主事	12人	音楽療法士	5人
養護教諭	4人	保健師	3人	キャリアコンサルタント	8人	2級キャリアコンサルティング技能士	4人

※その他、医療的ケア児コーディネーター、自閉症スペクトラム支援士、防災士、認定絵本士など多様な国家・民間資格を持つスタッフが在籍



社内外の取り組み

*2026年3月時点

幼児教育・教育者の育成を通じて、保育業界を「学び続ける」業界へ

質の高い保育、幼児教育の
学びのプラットフォーム
「園長大学® 保育士大学」

合計導入自治体・法人 12

合計視聴者数 3,101人

講座数 75講座 動画数 348本

2025年度 官民共創の学び合い

Doronko × 福岡県小郡市

「保育・幼児教育および障害児福祉等に関する連携協定」を締結



Doronko × 山形県上山市

「子どもたちの『にんげん力』を育むための連携協定」を締結



2025年度開催の社内研修

子育ての質を上げる会議 36回

施設長勉強会 36回

児童発達支援管理責任者会議 2回

主任会議 12回

事故防止委員会 12回

どろんこレシビ会議 12回

保健・食育会議 12回

新入社員フォローアップ研修 4回

新卒内定者研修 1回

パラリンアートカップ 冠スポンサー契約を継続



パラリンアートカップは、あらゆるスポーツを対象に作品を募集し、現役プロアスリートが選考する唯一の障害児・者のアートコンテスト。

どろんこ会グループは「障害者の自立を支援する」趣旨に賛同し、2年連続パラリンアートカップの冠スポンサーとなりました。



▲表彰式の様子

◀受賞12作品でつくる特別ラベル

視察の受け入れ

計37回

自治体 31回 民間 6回

うち14回



どろんこ祭り
参加者数

地域の盆踊り
「糸と糸」と共同開催

約1,000名

南魚沼どろんこ保育園



子どもたちの
銭湯利用回数

7,735回
(1,755名)
※実人数

2025年度の社外広報実績（一部抜粋）

📺 メディア掲載実績

性教育・インクルーシブ・多機能化など特色ある保育

子ども性暴力防止法のガイドライン案おおむね了承
子どもの安全を守るためにできることは？

「誤った情報を得る前に」 幼児期の性教育、模索する保育現場

ジェンダー配慮 幼児期から

どろんこ会グループ、和光の保育園で医療的ケア児などの受け入れ強化

連載「年長さんが学ぶ性」(全3回)

媒体名

日本テレビ「news every.」

朝日新聞

読売新聞

日本経済新聞

朝日新聞

対象

東大和どろんこ保育園

東大和どろんこ保育園

東大和どろんこ保育園

メリー★ポピンズ 和光ルーム

東大和どろんこ保育園

👤 スタッフの活躍

プロ野球選手の第2の人生

対談企画「桶川の子育ての未来」

48歳、初産のリアル
仕事そして妊娠・子育て・介護

媒体名

テレビ朝日
「ビートたけしのTVタックル」

埼玉新聞

現代書館

対象

大豆戸どろんこ保育園
保育士 高沢秀昭

メリー★ポピンズ 桶川ルーム
千葉施設長

東大和どろんこ保育園
宮澤施設長



🎤 講演・研修・視察

自治体向け

保育DXに関する意見交換

実は0歳からの積み重ねが大事!日々の保育でできる乳幼児期の性教育

「建てただけ、一緒にしただけ」では進まない
インクルーシブ保育のリアル

保育施設長向けトップセミナー「職場におけるジェンダーギャップ」

主催

デジタル庁(穂坂泰デジタル副大臣)

大阪市保育・幼児教育センター

静岡県静岡市

奈良県地域創造部子ども・女性局 子ども・女性課

登壇者

東大和どろんこ保育園

東大和どろんこ保育園 宮澤施設長

東大和どろんこ保育園 宮澤施設長
マーケティング本部 諸我本部長

安永理事長

事業者向け

性被害から子どもを守る
～DBS制度本格化に向けて園に求められる体制整備～

教育・保育の場での子どもへの性暴力を防ぐための制度
「日本版DBS」解説セミナー

主催

保育博2025(東京)

どろんこ会グループ広報部

登壇者

安永理事長

広報部 青木課長

こども家庭庁
久米 隼人氏

海外向け

台湾教育省青年海外研修支援事業(インターン生2名の受け入れ)

日本のインクルーシブ保育

主催

台湾教育省

アラブ首長国連邦バイ教育・建築関係者

対象

中目黒どろんこ保育園 他

東大和どろんこ保育園/安永理事長

学生・保護者・地域向け

福祉×農業。地域や日本を良くするための私たちの挑戦

子どもの理解、多様な子の理解

保育士や教員になる前に知っておきたい
0歳から始まる”からだと命の大切さ”を教える性教育

全ての人がよく生きられる社会を創る

なぜ保育教育も就労もインクルーシブヘシフトするのか

主催

東京農業大学

昭学院短期大学

梅光学院大学

朝霞市立朝霞第三中学校

郡山健康科学専門学校(文科省委託事業)

登壇者

高堀代表

発達支援つむぎ ふじみ野ルーム 古川訪問支援員

篠栗どろんこ保育園 北原施設長
広報部 青木課長

安永理事長

安永理事長

🏆 受賞歴

給食の鉄人®2025 決勝大会 優勝および東京都知事賞

主催

給食の鉄人®2025実行委員会

対象

八山田どろんこ保育園

📷 撮影協力

「おかあさんといっしょ」撮影協力

主催

NHK Eテレ

対象

東大和どろんこ保育園